

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【公開番号】特開 2014-88764 (P2014-88764A)
 【公開日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-025
 【出願番号】特願 2014-3028 (P2014-3028)
 【国際特許分類】

E 0 4 B 1/30 (2006.01)

E 0 4 C 3/293 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/30 H

E 0 4 C 3/293

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 5 月 23 日 (2014.5.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉄骨構造の中央部と鉄筋コンクリート構造の材端部とによって長尺状に形成される複合構造体であって、

前記中央部を形成するとともに前記材端部に一部が埋設される鋼材と、

前記中央部と前記材端部との境界に配置されるとともに前記鋼材の外周を囲繞するように前記鋼材に溶接される境界プレートと、

前記材端部に前記鋼材と略平行に配置されるとともに前記境界プレートに先端が固定される主筋と、

前記鋼材及び前記主筋を囲むように軸方向に間隔を置いて複数配置されるせん断補強筋と、

前記材端部に充填されるコンクリートとを備え、

前記主筋は前記境界プレートを貫通して先端が前記中央部側に突出するとともに、前記境界プレートを挟んだ前記中央部側と前記材端部側にそれぞれ装着される 2 つのナットによって前記境界プレートを挟持することで、前記主筋の先端の固定が行なわれることを特徴とする複合構造体。

【請求項 2】

前記鋼材の終端は前記材端部内に配置されるとともに、前記鋼材の終端付近に集中補強筋が配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 3】

前記鋼材の終端に、前記材端部に接合させる部材の内部に埋設されるアンカー部材を取り付けたことを特徴とする請求項 2 に記載の複合構造体。

【請求項 4】

前記鋼材の終端が、前記材端部に接合させる部材の内部に埋設されることを特徴とする請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 5】

前記鋼材は一对の平行なフランジがウェブによって連結された部材であるとともに、前記主筋は前記フランジの内側と外側の両方に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4

のいずれか一項に記載の複合構造体。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の複合構造体の前記材端部を、鉄筋コンクリート構造の部材に接合させたことを特徴とする建築物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

ここで、前記主筋は前記境界プレートを貫通して先端が前記中央部側に突出するとともに、前記境界プレートを挟んだ前記中央部側と前記材端部側にそれぞれ装着される 2 つのナットによって前記境界プレートを挟持することで、前記主筋の先端の固定が行なわれる構成とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0107

【補正方法】削除

【補正の内容】